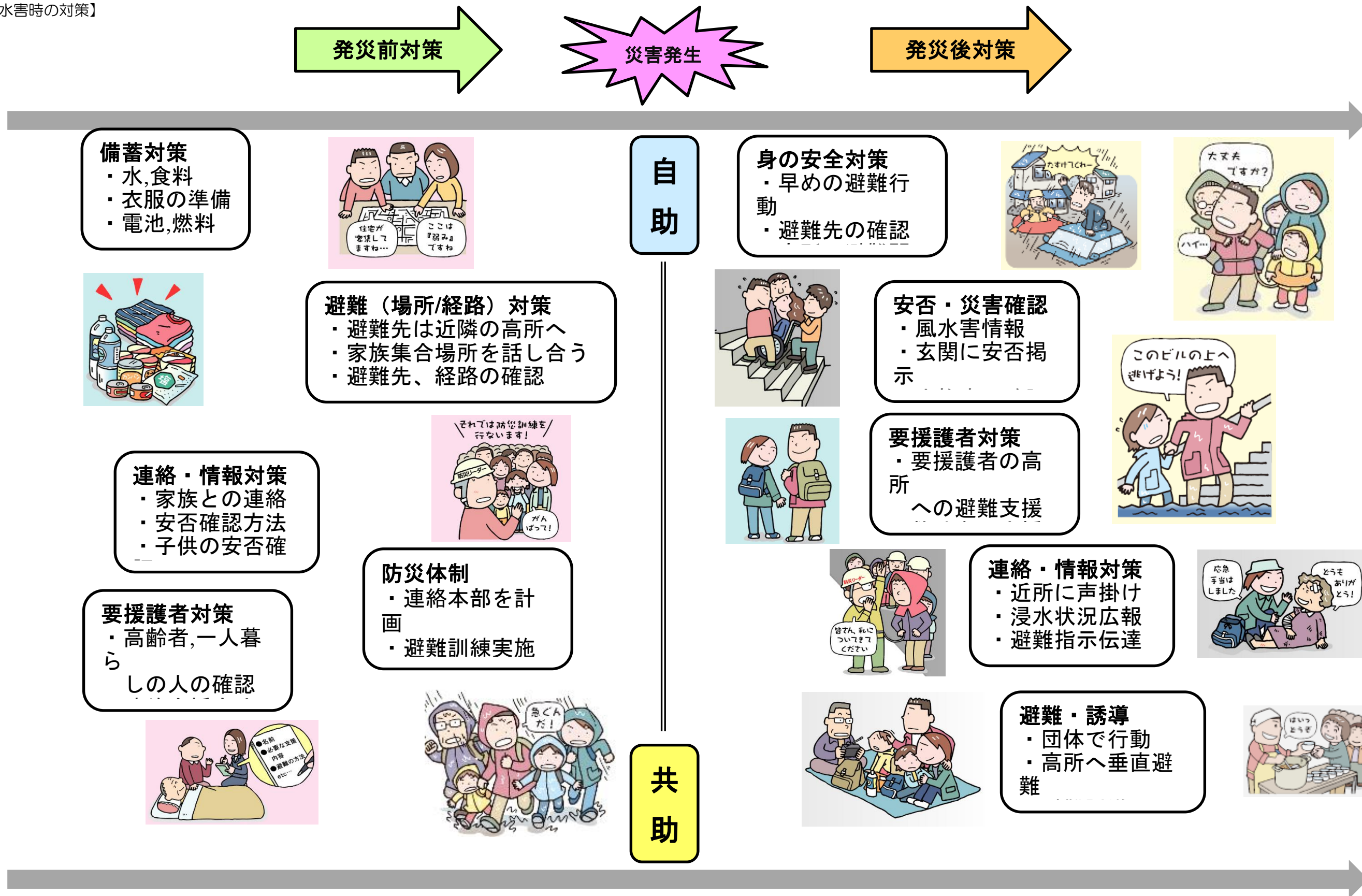


5.具体的な防災・減災対策
【水害時の対策】



発災前対策

災害発生

発災後対策

備蓄対策
・飲料水,食料
・衣類を準備



転倒防止対策
・大型家具の固定
・ガラス飛散防



避難（場所/経路）対策
・家族と話し合い決定
・家族集合場所を確認



連絡・情報対策
・情報確認方法
・家族との連絡
・安否確認方法

要援護者対策
・高齢者,一人暮らし者の確認



防災訓練
・実践的避難訓練
・避難訓練



防災資機材準備
・消火器設置
・拡声器備蓄
・防災物資等備

自助

身の安全対策
・自分を守る
・周囲,家族の確認



家族・安否確認
・家族安否確認
・建物,火災確認



要援護者対策
・要援護者の支援
・声掛け避難



連絡・情報対策
・建物,火災確認
・災害情報の受



避難・誘導
・声掛け避難
・一時避難所へ
・負傷者を誘導



共助

住民の防災講演会やワークショップへの参加により、地域での防災・減災への取り組みとして、発災前・発災時等と、自助(自分・家族での取り組み)・共助(地域での連携の取り組み)に区分して整理した。

■水 害

【自 助 発災前】

○避難(場所/経路) 対策 情報の先取りで避難先を判断する
避難場所・避難経路の確認
浸水時の避難先を家族と話し合う
水害時の避難は近所の高い建物へ

○連絡・情報対策 (安否確認等) 住宅前に安否情報を掲示する
家族との連絡方法を決めておく
回覧板の順に安否確認する
町会連絡網を作成する
NTT の安否情報を活用する
外出家族と家の連絡
ラジオの安否情報を活用する
集合場所に赤い旗を掲げる

○防災用品備蓄対策 水・食糧を個人で備蓄する
3日分の食料備蓄
防災グッズの常備
服装の準備
イカダ、浮き袋を常備する
底広の舟(10人乗位)を用意する
車椅子、リヤカーを用意する

【自 助 発災後】

○身の安全対策 早めの避難行動
避難先の確認
避難の開始

○連絡・情報対策 風水害情報を得る(ラジオ・携帯)
災害情報を聞く
安否確認

【共 助 発災前】

- 災害時要援護者対策 高齢者がどこに誰が住んでいるのか把握しておく
一人暮らしの人を確認しておく
名簿の作成
救助にあたる協力者を決めておく
近隣の災害時要援護者援護の確認
移動手段の確保

- 連絡・情報対策 安全確認の連絡網の強化
安否確認の方法確認
回覧板で廻す

- 資機材・備品 ハンドマイクを各班ごとに常備

- 防災体制 連絡本部を2か所以上決めておく
連絡体制を事前に決めておく
避難訓練により連絡網の確立

【共 助 発災後】

- 災害時要援護者対策 動けない人を安全な場所に移動支援
災害時要援護者を3階以上に避難支援

- 連絡・情報対策 風水害情報の確認
近所に大声で連絡、声掛け
家の前に安否を表示する
町会役員に直接連絡、報告

- 避難・誘導 低層階の人を3階以上に誘導する
避難先の安全性を確認
高所への垂直避難誘導

■地 震

【自 助 発災前】

- 避難(場所/経路)対策 両側がブロック塀の狭い道は避ける
前もって避難経路複数ルートを決めておく
家族の集合場所を確認しておく

避難場所・避難経路の確認

- 連絡・情報対策
 - 家族同士の連絡方法確認
 - 情報確認方法の検討
 - 安否確認方法の確認

- 備蓄対策
 - 飲料水、食量の個人での備蓄（3～5日分）
 - 衣類(家族分)をまとめておく
 - ヘルメット、リュックの常備
 - 普段から非常持ち出し品を常備しておく
 - 車のガソリンを入れておく
 - 車椅子、リヤカーの増備
 - タンカを置いておく
 - 寝袋・テントを用意する
 - 簡易トイレ、紙おむつの用意

- 転倒防止対策
 - 家具の固定をする
 - ガラス戸に飛散防止フィルムを貼る
 - 一つの部屋にタンスを集める

- 火 災
 - 消火器設置する
 - 消火栓の確認をする
 - 日頃からガスの元栓を止めておく
 - 燃えやすいもののある場所の日常点検
 - 最上階から火災現場を確認する
 - 火災発生時に隣近所に知らせる
 - 風呂の水をためておく

- 【自 助 発災後】
- 地震直後
 - 自分を守る
 - 家族の安全を確認する
 - 避難口（ドア）開放・確保
 - 配電盤のスイッチを切る

- 連絡・情報対策
 - 安否確認など声を掛け合う

建物・火災の確認
ラジオなどで災害情報の受信、確認
家の前に、「元気」「ケガ」等を表示する
近所の安否確認

【共 助 発災前】

- 連絡・情報対策 災害伝言ダイヤル（171）の活用
安否確認方法の確認
町会で一時避難所を決めておく

- 要援護者対策 高齢者、災害時要援護者の確認・把握
災害時要援護に必要な手助けを聞いておく
ブロック別に災害時要援護者の確認分担体制を確認する
要援護者の避難支援の段取り、簡易担架を置いておく
前もって複数の支援者を決めておく
災害時要援護者の搬送方法
災害時要援護者の相互協力
一人の災害時要援護者に支援者4人が必要
災害時要援護者の支援順番を決めておく

- 防災訓練 避難訓練の実施と参加

- 防災資機材準備 各班に拡声器を常備
移動手段の確保
防災物資等備蓄

【共 助 発災後】

- 災害時要援護者対策 災害時要援護者の避難を支援
タンカ、毛布等で移動を支援する
声掛け避難、一緒に避難
車椅子での移動経路を確認
車椅子の人をできるだけ早く避難

- 連絡・情報対策 災害情報、被害情報等の確認
町内の安否確認
火災の有無を確認
火災の場合には消火器で初期消火

けが人の手当・救護

○避難・誘導

複数で声掛けながら避難

一時避難所への誘導と避難先への支援

広い道を通る

できるだけグループで避難する

負傷者を病院へ誘導